

伊達を拠点に施工エリアを広げる須藤建設

顧客ニーズに応え100周年

確かな実績と信頼築く

伊達市松ヶ枝町に本社を置く須藤建設株式会社(須藤正之社長)が、1918年(大正7年)の創業から100年の節目を迎えた。大型建築物などの公共事業と住宅事業を2本柱に、長年にわたって顧客のニーズに応え、確かな実績と信頼を積み重ねてきた。いつの時代も環境の変化に的確に対応し、「未来への投資」として6月4日に「二セコ支店を開設、新たなエリアで販路拡大を目指す」「次の100年」へと歩み出した。



創業100年を迎えた伊達市の須藤建設本社

「創業100年の歴史を振り返り、4代目社長としての思い。」「100年という長い間、先代たちはそれぞれの時代の中で、建築の仕事を通じて地域に根を張ってきたのだと、改めて感じています。6月2日の記念パーティーには、予想をはるかに超える大勢の方々にご来場いただき、感謝しています。長い間、地域のみなさんに支えられ、受け入れられていたのだと、感じました。100周年のロゴで示した木のマークのように、少しずつ年輪を重ねて大きくなってきたのだと思います。」

「建築創造職」掲げ年輪刻む 須藤正之社長



歴史の重みをかみしめ次の100年への思いを語る須藤社長

「100年の歴史の中で須藤建設が大切にしてきたものは、築いてきたものは、初代は宮大工で、職人が興した会社です。建築に関する技術を大切に、磨き続けるとともに、そこに住む人、利用する人たちにとって最良の建物や空間を創りだすことを追求する「建築創造職」を基本方針としています。建物は人が長く住み、地域に長く存在していくもの。周囲の景観や環境に配慮し、溶け込んでいく建築を進めています。このような姿勢が差別化につながると考えています。」

「一次の100年へどう歩んでいきますか。」「先代たちは100年続くと思って仕事をしていたはずで、それぞれの時代で苦しい時があったと思います。困難に柔軟に対応し、失敗しても次につなげ、チャレンジし続けてきたからこそ今があると思っています。社長就任から5年目になりましたが、100周年は先代たちが歩んできた歴史を振り返る良い機会になりました。」

「今後は人材の確保が課題になっていきます。現在の社員55人。一人一人能力のあるスタッフがそろっていますので、力を合わせて乗り越えていきたい。建設業は自社だけでなく、さまざまな業種、職人さんと一緒に一つのものを作る仕事です。それぞれが連携して技術を受け継いでいくことも、大きな課題だと思っています。」



創業の地、豊浦神社を訪れ、記念撮影する須藤建設の社員たち

全社員でゆかりの豊浦神社訪問

須藤建設は、宮大工の須藤幸次郎が1917年(大正6年)に山形県から来道し、棟梁として豊浦神社を普請したのが始まり。幸次郎は翌18年に須藤組を創業。北海道(豊浦町)など神社仏閣の普請で腕前を發揮し、地域の信頼を集めていった。「職人」から職人を抱える「組」になり、今年で100年の節目に当たる。2代目幸一が69年(昭和44年)に株式会社を設立。ビル建設や公共事業など大型の仕事を手掛け、高度経済成長とともに大きく躍進した。75年(同50年)に伊達支店を開業、81年(同56年)には本社を伊達市に移転して事業エリアの本格的な拡大を図った。85年(同60年)に住宅事業部「SUDOホーム」を設立。大型の建築物を手掛ける総合建設業の高い施工力とノウハウを住宅建設に生かした。

1917年	須藤幸次郎、大工職人として山形県より来道
1918年	豊浦神社を須藤幸次郎が棟梁として普請。須藤組を創業
1921年	北海道を須藤幸次郎が棟梁として普請
1969年	須藤建設株式会社設立。代表取締役須藤幸一
1975年	伊達支店開設
1977年	1級建築士事務所を開設
1981年	伊達市に本社移転
1982年	R/C住宅事業を開始
1985年	住宅事業部設立
1988年	室蘭工業大学とR/C外断熱「伊達の家」を建てる。代表取締役社長に須藤敏幸就任。千葉県に東関東支店を開設
1989年	R/C外断熱「伊達の家」日本建築学会作品選集入選
1994年	カナダ・バンクーバーに出張所開設
1997年	匠塾(大工育成学校)開設
2003年	デベロッパー事業着手。ふなおか公園まち分譲住宅事業
2006年	札幌支店開設。植樹事業「木を植えよう」開始
2010年	東関東支店流山オフィス開設
2011年	本社新築移転
2013年	札幌オフィス移転(中の島)
2014年	代表取締役社長に須藤正之就任。宮城県亶理町災害復興JVで災害公営住宅を受注
2015年	二セコでの受注50件突破
2018年	創業100年。二セコ支店開設



大勢の関係者が来場した記念パーティー

100周年記念パーティーは6月2日、伊達市松ヶ枝町のたて歴史の杜カルチャーセンターで開かれた。会場には施主や取引業者、関係者ら800人を超える来場があり、地域に根差した歴史ある建設会社の節目を祝った。席上で須藤敏幸取締役会長は沿革を振り返り、100年の間に関わった全ての人に感謝の気持ちを伝え、「きょうが200年へのスタート。次世代を担う子どもたちにとって明るい未来であるように」とあいさつ。多彩なステージイベントや特設マルシェを楽しみながら懇親を深め、今後一層の発展を誓った。

記念パーティーに800人超

建設はそれぞれの世代で「創造」への挑戦を続け成長を遂げてきた。「土地が家を決め、人が家が決まる」を基本コンセプトに掲げ、傾斜や地形など敷地の形状や環境に合わせて、特徴を引き出しながら、より安全で質の高い住宅の提供が各方面から高く評価されている。室工大・鎌田紀彦教授(現名誉教授)の指導の下、高断熱・高気密・計画換気、全館暖房の技術を取り入れている。自社で養成した大工や建築士らによるデザイン性や提案力にも優れ、「SUDOの家」は長い時間をかけて広く浸透していった。営業拠点は札幌、千葉に二セコ地区が加わり、各地区で施工エリアを広げている。

きめ細かく手厚い対応



二セコ支店開設を記念した社員向けのオープンパーティー

抱負を語る左から、松本さん、原さん、菊地さん

若手社員の抱負

次世代を支える意欲熱く

菊地美咲さん 入社から2カ月半が経ち、まだ覚えることで一杯ですが、いずれ自分が設計した住宅が建つよう、しっかりと学んでいきたいです。

原雅司さん 常に先を見据えて行動し、初心を忘れず日々仕事に励もうと思っています。そのうち「できること」はその日々にやることを意識します。

松本明さん 高校・大学で建築を学びましたが、現場では覚えることが多々あります。諸先輩方の御指導を頂き、貢献できるように努めます。

二セコ支店は伊達市比羅夫の国道5号沿いにあり、木造平屋の事務所、ギャラリー約140平方メートル、駐車が設けられている。切ったままの木材を使用し、それぞれ異なる木の表情やぬくもりを感じられる空間となっている。スタッフ5人体制で二セコ地区の需要に、より手厚く応えることも、販路拡大を目指す。

倶知安町、二セコ町の羊蹄山麓エリアは、スキーリゾートに訪れたオーストラリアの人たちがパウダースノーの雪質を気に入ったことをきっかけに、寛裕層の間で人気が高まった。スキー場を利用する長期滞在者や、仕事を求める外国人の移住者が2003年から急増。別荘やコンドミニアムの建設が

ツシユが始まった。同社は05年(平成17年)に二セコ地区に進出。外国人向けのコンドミニアムを中心に手掛けてきた。08年のリーマンショック後は一時需要が落ちたが、その後徐々に回復。最近の二セコ人気は北欧やアジア圏に広がっており、今後需要が見込めると判断し、100周年をきかっけに支店開設に踏み切った。

近年では地元住民の注文住宅の受注も増えており、支店開設によって「これまで以上にきめ細かな対応が可能になる」と須藤社長。「安心、安全の住宅サービスを提供とサポート体制をしっかりと構築し、二セコ地区でSUDOの名を広めていきたい」とSUDOブランドの拡大と浸透を図っていく。

今月4日開設の二セコ支店



TRUNK OF TREE

私たちSUDOは、人と人のつながりに感謝し着実に歩んできました。これまでの歴史を積み重ねた技術と次の100年に向けた創造力を磨き、100年、200年と太陽に向かって大きく花を咲かせる木の幹のように。



飛躍的發展を続ける後志管内二セコ地区
SUDO 二セコ支店 6.4 Mon OPEN いたしました。

- 須藤建設株式会社 / SUDOホーム
- 〒052-0012
北海道伊達市松ヶ枝町65-8
TEL/0142-25-2252・FAX/0142-23-5490(代表)
TEL/0142-22-0211・FAX/0142-22-0212(SUDOホーム)
- 札幌支店
〒062-0921
北海道札幌市豊平区中の島1条5丁目3-11
TEL/011-816-8900・FAX/011-816-8901
 - 二セコ支店
〒044-0077
北海道虻田郡倶知安町比羅夫159-8
TEL/0136-55-6350・FAX/0136-55-6353
 - 東関東支店
〒267-0068
千葉県千葉市緑区あすみが丘8丁目4-50
TEL/043-205-5080・FAX/043-205-5083
 - 流山オフィス
〒270-0121
千葉県流山市西初石5丁目59-6
TEL/04-7159-6421・FAX/04-7159-6431

